

ちよつとしい話

～ 紆余曲折 ～

21年8月1日

還暦を迎え人生を振り返り見ますと、最短距離で人生行路の軌跡を描いて来られた方は非常に少ないと思います。人生には色々な出会い（大自然、人間関係、神仏）等々自分の置かれた環境によって様々な経験を踏まれて今日まで来られたはずです。恵まれた環境の中で生活が出来た方のみが幸せであったとするには問題があります。若い方は色々な人生経験を持つ初老の方々に経験談を聞かせて頂き、将来の糧にしてはと思うのです。温床の中に浸かっていますと、その良さが十分に感じられ無くなってしまいます。人間は様々な経験をしてこそ、悲しみの中にも喜びを見つけ出せる様になれます。人の真似を奨励するのではありませ。ただイチローの真似をしてもイチローの様には打てません。ポイントを見つける事が大事です。『論語』に「子曰く、三人行れば、必ず我が師あり、其の善き者を択んで之に従おう」と人生の選択、指針に役立ちます。我々が人間として一生を終わる時、有終の美を飾れた人が人生の成功者と言えるでしょう。家督を譲るには家訓しか御座いません。しかしながら最後に六文銭と葬式の費用ぐらひは子供に残してやりましょう。今年も上半期の統計によりますと自殺者が17,076人でした。この数字は年間で最悪を記録した2003年の34,427人に迫る勢いだそうです。修行の道場である此の娑婆（現世）は苦勞、苦惱、苦汁が多くて当然です。人間の悩みはそれぞれに与えられ、千差万別です。佛様は我々に84000の苦しみを与え給い、皆共に夫々の立場で修行しなさいと言う戒めです。親、先祖、家族を泣かせ、苦しませる自殺は避けましょう。こんな詠をひとつ「ああ情けなや 情けなや 樂を求めて 死に急ぎ 残せし家族の悲しみ哀れ」。命は大切です。人々や神仏の力を仰ぎ解決の方法を探しましょう。幸い当山には諸仏、諸菩薩様を御安置し、皆様方の心の支えとして、道場を開放致しております。佛様と対話をしましょう。共に助け合ひましょう。意願満足ならしめ賜えと、

善壽界善入院油掛地藏尊